

科目名称：	乳児保育研究 I	
担当者名：	米川 祥子、酢谷 温子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>現代の日本の文化環境下にあつて、出産・子育てが大きな課題となっている。とりわけ乳児保育は、個人と社会・文化の接点として重要な位置を占めるがゆえに、社会の要請も極めて高いものとなっている。</p> <p>本授業では、乳児保育演習 I での学びを基に、乳児保育には欠かせない子育て支援や保育ソーシャルワークについての学びを深める。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<ul style="list-style-type: none"> <li>●乳児保育における子育て支援、社会資源について自ら調べて理解する。</li> <li>●地域の子育て支援施設の現場参加を通して、保育ソーシャルワークについて理解する。</li> </ul>		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP (2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	
DP (3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP (4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。	○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP (1)					0
幼児教育DP (2)					0
幼児教育DP (3)					0
幼児教育DP (4)			60	40	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容 1》（米川）臨床心理士（幼児相談）	《経験年数 1》 14年
	《内容 2》（酢谷）保育士	《経験年数 2》 34年
	《内容 3》	《経験年数 3》
	《内容 4》	《経験年数 4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 オリエンテーション(関係作り)	関係作りのレポートを準備しておく	30分
第2回 手作りおもちゃの発表会	手作りおもちゃ発表の事前準備をしておく	30分
第3回 手作りおもちゃの発表会	手作りおもちゃ発表の事前準備をしておく	30分
第4回 親の思いを知る(調べ学習)	親の声をリサーチしておく	30分
第5回 地域の子育て支援施設(ひろば)見学・体験(フィールドワーク)	見学・体験の事前メモを準備する	15分
第6回 地域の子育て支援施設(ひろば)見学・体験(フィールドワーク)	見学・体験の事前メモを準備する	15分
第7回 地域の子育て支援施設(ひろば)見学・体験(フィールドワーク)	見学・体験の事前メモを準備する	15分
第8回 地域の子育て支援施設見学・体験レポートまとめ	地域の子育て支援施設見学・体験のまとめを仕上げる	60分
第9回 地域の子育て支援施設(ひろば以外)見学・体験(フィールドワーク)	見学・体験の事前メモを準備する	15分
第10回 地域の子育て支援施設(ひろば以外)見学・体験(フィールドワーク)	見学・体験の事前メモを準備する	15分
第11回 地域の子育て支援施設(ひろば以外)見学・体験レポートまとめ	地域の子育て支援施設見学・体験のまとめを仕上げる	60分
第12回 地域の子育て支援施設見学・体験レポート発表会(プレゼンテーション)	プレゼンテーションの事前準備をしておく	30分
第13回 地域の子育て支援施設見学・体験レポート発表会(プレゼンテーション)	プレゼンテーションの事前準備をしておく	30分
第14回 社会的リソースとの連携の必要性(グループワーク)	体験レポートの見直し	10分
第15回 保育ソーシャルワークの実際	保育ソーシャルワークの実際のレポートをまとめる	60分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

**成績評価の方法・基準**

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。  
授業への積極的関与40% 提出物60%

**課題に対するフィードバック**

各課題に対して、その都度コメントシートでフィードバックする。  
最終課題は、希望者には返却する。

**教科書・参考書**

<教科書> 「乳児の発達と保育」 エイデル研究所  
「はじめて学ぶ乳児保育」 同文書院